

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-189158

(43) 公開日 平成6年(1994)7月8日

(51)Int.Cl.

H04N 5/16

識別記号

A

FI

審査請求 未請求 請求項の数1 (全8頁)

(21) 出願番号 特願平4-336099

(22) 出願日 平成4年(1992)12月16日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(71) 出願人 000221029

東芝エー・ビー・イー株式会社
東京都港区新橋3丁目3番9号

(72) 発明者 住吉 肇

東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エー
・ビー・イー株式会社内

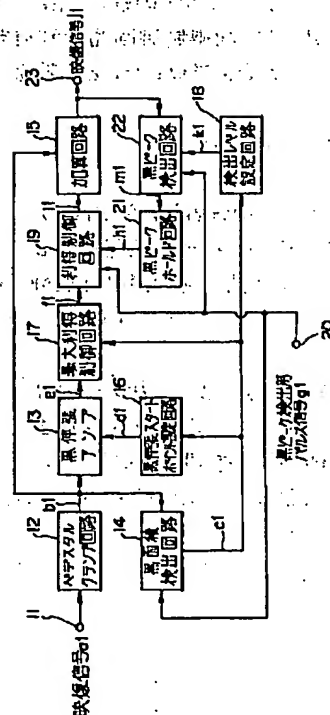
(74) 代理人 弁理士 伊藤 進

(54) 【発明の名称】黒伸張回路

(57) 【要約】

【目的】映像信号の暗い部分の割合に応じて、黒伸張アンプの黒伸張スタートポイントを設定するとともに、利得制御回路の利得を制御し、さらに、微分利得の最大値も設定できるようにする。

【構成】黒面積検出回路14は、ペデスタルクランプされた映像信号b1に対して所定の電圧 V_X 以下となる面積(映像期間に占める電圧 V_X 以下となる期間の割合)を検出し、この検出結果の黒面積検出信号c1を黒伸張スタートポイント設定回路16、最大利得制御回路17及び検出レベル設定回路18に供給している。これにより、映像信号の暗い部分の割合に応じて、黒伸張アンプの黒伸張スタートポイントを設定するとともに、利得制御回路の利得を制御し、さらに、微分利得の最大値も設定できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】供給される映像信号の直流再生を行い、ペデスタルクランプを行うペデスタルクランプ回路と、このペデスタルクランプ回路からのペデスタルクランプされた映像信号の映像期間に対して、所定の電圧よりも黒側にある期間の割合を検出する黒面積検出回路と、この黒面積検出回路の検出結果に基づいて黒伸張スタートポイントの電圧を設定する黒伸張スタートポイント設定回路と、前記ペデスタルクランプ回路からの映像信号の映像期間に対して、前記黒伸張スタートポイント設定回路が設定する黒伸張スタートポイントの電圧よりも黒側の映像信号のみ黒側に増幅する黒伸張アンプと、前記黒面積検出回路の検出結果に基づいて、前記黒伸張アンプからの黒側に増幅された映像信号の黒ピーク期間の最大利得を制御する最大利得制御回路と、この最大利得制御回路からの黒ピーク期間の最大利得が制御された映像信号に対して利得制御を行う利得制御回路と、この利得制御回路からの利得制御された映像信号と、前記ペデスタルクランプ回路からのペデスタルクランプされた映像信号とを加算する加算器と、前記黒面積検出回路の検出結果に基づいて黒ピーク検出レベルを設定する検出レベル設定回路と、前記加算器が出力する映像信号の映像期間におけるレベルと検出レベル設定回路が設定する黒ピーク検出レベルとの比較を行い、該加算器が出力する映像信号の映像期間におけるレベルが、黒ピーク検出レベルよりも黒側にある期間を検出する黒ピーク検出回路と、この黒ピーク検出回路の検出結果が期間が一定の比率となるように前記利得制御回路の利得を制御する黒ピークホールド回路とを具備したことを特徴とする黒伸張回路。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、カラーテレビジョン受像機等に用いられ映像信号の黒レベルのばらつきを補正する黒伸張回路に係り、特に暗い映像に対しても適切な黒レベルのばらつき補正を行える黒伸張回路に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、カラーテレビジョン受像機においては、映像信号の黒レベルのばらつきを補正するために、黒伸張回路を設けている。

【0003】図3はこのような従来の黒伸張回路のブロック図を示している。

【0004】図3において、符号71は映像増幅回路からの映像信号a2が導かれる入力端子であり、入力端子71に導かれた映像信号a2は、ペデスタルクランプ回路72に供給される。ペデスタルクランプ回路72は、供給される映像信号a2の直流再生を行い、ペデスタル

レベルを所定の値の電圧V CL2にクランプし、ペデスタルクランプされた映像信号b2として黒伸張アンプ73及び加算器74の第1の入力端子に供給する。

【0005】黒伸張アンプ73は、ペデスタルクランプされた映像信号b2に対して所定の電圧V SL2 ($V_{SL2} = V_{CL2} + 50IRE$ ユニット、但し、1IRE ユニットは、 $1/100[V]$ を示している。)よりも黒側の映像信号のみ増幅し映像信号c2として、利得制御回路75に供給する。

10 【0006】利得制御回路75は、入力端子76からの黒ピーク検出用パルス信号d2と、黒ピークホールド回路77からの黒ピークホールド信号e2より、黒伸張アンプ73からの映像信号c2に対して、黒ピーク期間の利得を制御し、帰線期間の利得を0とするとともに、ペデスタル期間を一定の電圧にし、利得制御された映像信号f2として加算回路74の第2の入力端子に供給する。

20 【0007】加算回路74は、第1の入力端子からの映像信号b2と、第2の入力端子からの映像信号f2とを加算し、映像信号g2として黒ピーク検出回路78に供給するとともに、出力端子79に導く。

【0008】黒ピーク検出回路78は、加算回路74からの映像信号g2の映像期間での黒ピークを検出するので、黒ピーク検出用パルス信号d2が示す映像期間において、映像信号g2がペデスタルレベルよりも黒側にある場合にハイレベルの黒ピーク検出信号h2を出力する。

30 【0009】黒ピークホールド回路77は、黒ピーク検出信号h2がハイレベルとなった期間をホールドし、このホールドした期間を予め設定した目標値と比較し、この比較結果に基づいて、黒ピーク期間が所定の比率となるように利得制御回路75の利得を制御する黒ピークホールド信号e2を該利得制御回路75に供給する。

【0010】このような黒伸張回路の動作を図4の説明図を参照して説明する。

40 【0011】入力端子71に導かれた映像信号a2は、ペデスタルクランプ回路72によりペデスタルレベルを所定の値の電圧V CL1にクランプされ映像信号b2に変換され、黒伸張アンプ73により、所定の電圧V SL1よりも黒側の電圧が増幅され、利得制御回路75により利得が制御され、加算回路74によりペデスタルクランプ回路72からの映像信号b2と加算され映像信号g2として出力端子79に導かれる。加算回路74からの映像信号g2は、黒ピーク検出回路78及び黒ピークホールド回路77により、黒ピーク検出信号h2がハイレベルとなった期間が目標値と比較され、この比較結果に基づいて、黒ピークホールド回路77は、黒ピーク期間が所定の比率となるように利得制御回路75の利得を制御する。

50 【0012】これにより、図4に示すように、映像信号g2の黒の部分、映像信号a2の黒の部分よりも黒伸

張された状態となる。

【0013】図5は、このような黒伸張回路の特性を示すグラフであり、縦軸は映像信号g2の振幅(IREユニット)を示し、横軸は映像信号a2の振幅(IREユニット)を示している。

【0014】図5において、映像信号a2の振幅が黒伸張が行われない50IREユニットよりも大きい場合には、映像信号g2の振幅は、映像信号a2の振幅と一致することになる。

【0015】映像信号a2の振幅の黒伸張が行われる50IREユニット以下の場合において、映像信号a2に黒がある場合、即ち、映像信号a2に黒ピーク期間が十分がある場合には、映像信号g2の振幅は、映像信号a2の振幅と一致することになる。また、映像信号a2に黒が浮いている場合、即ち、映像信号a2に黒ピーク期間が不十分である場合には、映像信号g2の振幅は、該映像信号g2の振幅の低下に比例して、映像信号a2の振幅よりも低い振幅に引き込まれる。

【0016】このようにして従来の黒伸張回路では映像信号の黒レベルのばらつきを補正している。

【0017】しかしながら、このような従来の黒伸張回路では、映像信号a2の暗い部分(面積)の割合に関係なく黒伸張アンプ73の黒伸張スタートポイントが一定であるとともに、黒ピーク検出回路78が映像信号g2の映像期間での黒ピークを一定のペデスタルレベルで検出し、黒ピークホールド回路77が、黒ピーク検出回路78の検出結果に基づいて、黒ピーク期間が所定の比率となるように利得制御回路75の利得を制御しているので、画面全体が暗い映像(50IRE以下程度)の映像信号a2や、暗い部分の多い映像信号a2が入力された場合には、受像管の画面全体が極端に暗くなるとともに、画面の暗い部分が黒つぶれぎみになる。また、このような映像信号a2が入力されることにより、利得制御回路75の微分利得が上昇しすぎた場合には、画面の暗い部分のSN比(信号対雑音比)が大きく悪化してしまう。

【0018】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来の黒伸張回路においては、映像信号の暗い部分の割合に関係なく黒伸張アンプの黒伸張スタートポイントが一定であるとともに、黒ピーク検出回路が映像信号の映像期間での黒ピークを一定のペデスタルレベルで検出し、黒ピークホールド回路が、黒ピーク検出回路の検出結果に基づいて、黒ピーク期間が所定の比率となるように利得制御回路の利得を制御しているので、画面全体が暗い映像の映像信号や、暗い部分の多い映像信号が入力された場合には、受像管の画面全体が極端に暗くなるとともに、画面の暗い部分が黒つぶれぎみになる。また、このような映像信号が入力されることにより、利得制御回路の微分利得が上昇しすぎた場合には、画面の暗い部分のSN比が大きく悪化してしまう。

【0019】本発明は前記の問題点を除去し、映像信号の暗い部分の割合に応じて、黒伸張アンプの黒伸張スタートポイントを設定するとともに、利得制御回路の利得を制御し、さらに、微分利得の最大値も設定できる黒伸張回路の提供を目的とする。

【0020】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の本発明による黒伸張回路は、供給される映像信号の直流再生を行い、ペデスタルクランプを行うペデスタルクランプ回路と、このペデスタルクランプ回路からのペデスタルクランプされた映像信号の映像期間に対して、所定の電圧よりも黒側にある期間の割合を検出する黒面積検出回路と、この黒面積検出回路の検出結果に基づいて黒伸張スタートポイントの電圧を設定する黒伸張スタートポイント設定回路と、前記ペデスタルクランプ回路からの映像信号の映像期間に対して、前記黒伸張スタートポイント設定回路が設定する黒伸張スタートポイントの電圧よりも黒側の映像信号のみ黒側に増幅する黒伸張アンプと、前記黒面積検出回路の検出結果に基づいて、前記黒伸張アンプからの黒側に増幅された映像信号の黒ピーク期間の最大利得を制御する最大利得制御回路と、この最大利得制御回路からの黒ピーク期間の最大利得が制御された映像信号に対して利得制御を行う利得制御回路と、この利得制御回路からの利得制御された映像信号と、前記ペデスタルクランプ回路からのペデスタルクランプされた映像信号とを加算する加算器と、前記黒面積検出回路の検出結果に基づいて黒ピーク検出レベルを設定する検出レベル設定回路と、前記加算器が出力する映像信号の映像期間におけるレベルと検出レベル設定回路が設定する黒ピーク検出レベルとの比較を行い、該加算器が出力する映像信号の映像期間におけるレベルが、黒ピーク検出レベルよりも黒側にある期間を検出する黒ピーク検出回路と、この黒ピーク検出回路の検出結果が期間が一定の比率となるように前記利得制御回路の利得を制御する黒ピークホールド回路とを具備したことを特徴とする。

【0021】

【作用】請求項1記載の構成によれば、黒面積検出回路がペデスタルクランプ回路からのペデスタルクランプされた映像信号の映像期間に対して所定の電圧よりも黒側にある期間の割合を検出し、黒伸張スタートポイント設定回路が黒面積検出回路の検出結果に基づいて黒伸張スタートポイントの電圧を設定し、最大利得制御回路が前記黒面積検出回路の検出結果に基づいて、前記黒伸張アンプからの黒側に増幅された映像信号の黒ピーク期間の最大利得を制御し、検出レベル設定回路が前記黒面積検出回路の検出結果に基づいて黒ピーク検出回路の黒ピーク検出レベルを設定するので、映像信号の暗い部分の割合に応じて、黒伸張アンプの黒伸張スタートポイントを設定するとともに、利得制御回路の利得を制御でき、さらに、微分利得の最大値も設定できる。

【0022】以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。

【0023】図1は本発明に係る黒伸張回路の一実施例を示すブロック図である。

【0024】図1において、符号11は映像増幅回路からの映像信号a1が導かれる入力端子であり、入力端子11に導かれた映像信号a1は、ペDESTALクランプ回路12に供給される。ペDESTALクランプ回路12は、供給される映像信号の直流再生を行い、ペDESTALレベルを所定の値の電圧V_{CL}にクランプし、ペDESTALクランプされた映像信号b1として黒伸張アンプ13、黒面積検出回路14及び加算器15の第1の入力端子に供給する。

【0025】黒面積検出回路14は、ペDESTALクランプされた映像信号b1に対して所定の電圧V_{th}×以下となる面積(映像期間に占める電圧V_{th}×以下となる期間の割合)を検出し、この検出結果の黒面積検出信号c1を黒伸張スタートポイント設定回路16、最大利得制御回路17及び検出レベル設定回路18に供給している。

【0026】黒伸張スタートポイント設定回路16は、黒面積検出信号c1に基づいて黒伸張スタートポイントの電圧V_{SL}を設定し、この電圧V_{SL}を示す制御信号d1を黒伸張アンプ13に供給する。

【0027】黒伸張アンプ13は、ペDESTALクランプされた映像信号b1に対して制御信号d1が示す黒伸張スタートポイントの電圧より黒側の映像信号のみ増幅し、映像信号e1として最大利得制御回路17に供給する。

【0028】最大利得制御回路17は、映像信号e1に対して、黒面積検出信号c1に基づいて黒ピーク期間の最大利得を制御し、映像信号f1として利得制御回路19に供給する。

【0029】利得制御回路19は、入力端子20からの黒ピーク検出用パルス信号g1と、黒ピークホールド回路21からの黒ピークホールド信号h1より、映像信号f1に対して、黒ピーク期間の利得を制御するとともに、帰線期間の利得を0とし、ペDESTAL期間を一定の電圧にし、利得制御された映像信号i1として加算回路15の第2の入力端子に供給する。

【0030】加算回路15は、第1の入力端子からの映像信号b1と、第2の入力端子からの映像信号i1とを加算し、映像信号j1として黒ピーク検出回路22に供給するとともに出力端子23に導く。

【0031】検出レベル設定回路18は、黒面積検出信号c1に基づいて黒ピーク検出レベルの電圧V_{DL}を設定し、この電圧V_{DL}を示す制御信号k1を黒ピーク検出回路22に供給する。

【0032】黒ピーク検出回路22は、加算回路15からの映像信号j1の映像期間内の黒ピークを検出する

もので、黒ピーク検出用パルス信号g1が示す映像期間内において、制御信号k1の示す黒ピーク検出レベルよりも映像信号j1が黒側にある期間にハイレベルの黒ピーク検出信号m1を出力する。

【0033】黒ピークホールド回路21は、黒ピーク検出信号m1がハイレベルとなった期間をホールドし、このホールドした期間を予め設定した目標値と比較し、この比較結果に基づいて、黒ピーク期間が所定の比率となるように利得制御回路19の利得を制御する黒ピークホールド信号h1を利得制御回路19に供給する。

【0034】このような実施例の動作を以下に説明する。

【0035】入力端子11に導かれた映像信号a1は、ペDESTALクランプ回路12によりペDESTALレベルを所定の値の電圧V_{CL}にクランプされ映像信号b1に変換され、黒面積検出回路14により所定の電圧V_{th}×以下となる面積が検出される。黒面積検出回路14の検出結果の黒面積検出信号c1は黒伸張スタートポイント設定回路16、最大利得制御回路17及び検出レベル設定回路18に供給される。これにより黒伸張スタートポイント設定回路16は黒伸張スタートポイントの電圧V_{SL}を設定し、黒伸張アンプ13は黒伸張スタートポイントの電圧V_{SL}より黒側の映像信号b1のみ増幅する。最大利得制御回路17は黒面積検出信号c1に基づいて映像信号e1の黒ピーク期間の最大利得を制御する。検出レベル設定回路18は黒面積検出信号c1に基づいて、黒ピーク検出回路は黒ピーク検出レベルの電圧V_{DL}を設定する。

【0036】ここで、黒伸張回路に画面全体が暗い映像の映像信号a1や、暗い部分の多い映像信号a1が入力された場合には、黒伸張スタートポイントの電圧V_{SL}が低下し、最大利得制御回路17の黒ピーク期間の最大利得が低下し、黒ピーク検出レベルの電圧V_{DL}が増大する。

【0037】図2は図1の黒面積検出回路を具体的に示す回路図である。

【0038】図2において、符号31はペDESTALクランプ回路12からの映像信号b1が入力される入力端子であり、この入力端子31に導かれた映像信号はNPNトランジスタTr1のベースに接続されている。

【0039】定電圧源V_{th}×は、黒面積検出の基準となる基準電圧V_{th}×を発生するものであり、負極端子が基準電位点に接続され、正極端子がNPNトランジスタTr2のベースに接続される。この場合、黒面積検出回路が3 OIREユニット以下の面積を検出する場合、映像信号b1の100IREが1Vならば、V_{th}×を以下の式に示すように設定する。

【0040】

【数1】

$$V_X = \frac{30}{100} \times 1V + V_{CL} = V_{CL} + 0.3V \quad \dots (1)$$

但し、 V_{CL} は映像信号b1のペDESTALレベルの電位である。

【0041】一方、PNPトランジスタTr3のエミッタは電源線路に接続される。PNPトランジスタTr3のベースは、PNPトランジスタTr4のベースに接続される。トランジスタTr3のコレクタは、該PNPトランジスタTr3のベースに接続されるとともに、NPNTランジスタTr1のコレクタ・エミッタ路を介して、NPNTランジスタTr5のコレクタに接続される。

【0042】PNPトランジスタTr4のエミッタは電源線路に接続される。トランジスタTr4のコレクタは、NPNTランジスタTr2のコレクタ・エミッタ路を介して、NPNTランジスタTr5のコレクタに接続される。

【0043】黒ピーク検出用パルス信号g1が導かれる入力端子32は、NPNTランジスタTr5のベースに接続されている。NPNTランジスタTr5のコレクタは抵抗R1を介して基準電位点に接続される。このような接続により、NPNTランジスタTr1、Tr2は差動アンプを構成し、NPNTランジスタTr3、Tr4はカレントミラー回路を構成し、NPNTランジスタTr5はこのような差動アンプ及びカレントミラー回路のオン、オフを行うスイッチング素子を構成している。

【0044】定電圧源 V_Y は、上記差動アンプの出力電圧を設定する基準電圧 V_Y を発生するものであり、負極端子が基準電位点に接続され、正極端子がNPNTランジスタTr6のベースに接続される。NPNTランジスタTr6は、コレクタが電源線路に接続され、エミッタがPNPトランジスタTr4とNPNTランジスタTr2との接続点に接続される。

【0045】PNPトランジスタTr4とNPNTランジスタTr2との接続点は、PNPトランジスタTr7のベースに接続される。PNPトランジスタTr7は、エミッタが抵抗R2を介して電源線路に接続され、コレクタがコンデンサC1を介して基準電位点に接続されるとともに抵抗R3を介して基準電位点に接続される。

【0046】NPNTランジスタTr8は、コレクタが

$$I_T = \frac{(V_{CC} - V_Y)}{R_2} \quad \dots (2)$$

但し、 V_{CC} は電源線路の電位であり、R2は抵抗R2の抵抗値である。

【0054】このようなコレクタ電流が流れることにより、コンデンサC1が充電される。

【0055】ここで、PNPトランジスタTr7がオンしている映像期間の比率を α とし、コンデンサC1の電

電源線路に接続され、エミッタが抵抗R4を介して基準電位点に接続されるとともに、黒面積検出回路の出力端子35に接続される。これによりNPNTランジスタTr8のエミッタから出力端子に導かれる制御電圧 c_1 は、黒伸張スタートポイント設定回路16、最大利得制御回路17、検出レベル設定回路18に導かれる。

10 【0047】このような黒面積検出回路の動作を具体的に説明する。

【0048】NPNTランジスタTr5のベースには、黒ピーク検出用パルス信号g1により、映像期間のみハイレベルとなるパルスが入力される。これにより、黒面積検出回路14が帰線期間の黒レベル等の映像期間以外の黒レベルを検出しないようにしている。

【0049】映像信号b1はNPNTランジスタTr1のベースに供給される。

【0050】NPNTランジスタTr1のコレクタ電流は、PNPトランジスタTr3、Tr4から成るカレントミラー回路を介してNPNTランジスタTr3のコレクタ電流と比較される。

【0051】映像信号b1によるNPNTランジスタTr1のベース電位よりNPNTランジスタTr2のベース電位(電圧 V_X)が高い場合には、NPNTランジスタTr1のコレクタ電流がNPNTランジスタTr2よりも多くなり、NPNTランジスタTr1のコレクタ電圧が上昇し、PNPトランジスタTr7はカットオフ状態となる。

30 【0052】映像信号b1によるNPNTランジスタTr2のベース電位よりNPNTランジスタTr1のベース電位(電圧 V_X)が高い場合には、NPNTランジスタTr2のコレクタ電流がNPNTランジスタTr1よりも多くなり、NPNTランジスタTr1のコレクタ電圧が下降し、PNPトランジスタTr7はオン状態となる。これにより、抵抗R2には、 $(V_{CC} - V_Y)$ の電圧が印加される。よって、PNPトランジスタTr7のコレクタ電流 I_T は以下に示す式となる。

【0053】

40 【数2】

圧を V_C とすると、コンデンサC1の電圧 V_C を一定の値で安定させるためには、コンデンサC1への充電量と放電量が等しくなければならない。これにより、以下の式が成立する。

【0056】

【数3】

50

$$\frac{VC}{R3} = \alpha \cdot \frac{(VCC - VY)}{R2} \quad \dots (3)$$

但し、R3は抵抗R3の抵抗値である。

【0057】この式(3)を変形すると、以下の式が成立する。

【0058】

【数4】

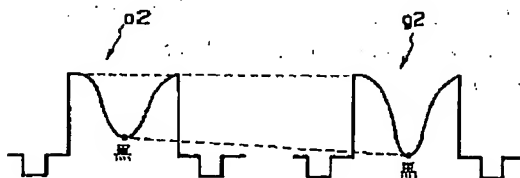
$$VC = \alpha \cdot \frac{R3}{R2} (VCC - VY) \quad \dots (4)$$

ここで、抵抗値R2、R3及び(VCC-VY)は一定より、コンデンサ電圧VCは、黒面積(映像期間比率)により変化し、出力端子35の制御電圧c1は黒面積により変化する。

【0059】これにより、黒面積検出回路14は、ペDESTALクランプされた映像信号b1に対して所定の電圧VX以下となる面積を検出し、この検出結果の黒面積検出信号c1を黒伸張スタートポイント設定回路16、最大利得制御回路17及び検出レベル設定回路18に供給することができる。

【0060】このような実施例によれば、黒面積検出回路14の検出結果の黒面積検出信号c1により、黒伸張スタートポイント設定回路16が黒伸張スタートポイントの電圧VSLを設定し、最大利得制御回路17が映像信号e1の黒ピーク期間の最大利得を制御することにより微分利得の最大値も設定し、検出レベル設定回路18が黒ピーク検出回路は黒ピーク検出レベルの電圧VDLを設定する。これにより、黒伸張回路に画面全体が暗い映像の映像信号や、暗い部分の多い映像信号が入力された場合には、黒伸張スタートポイントの電圧VSLが低下し、黒ピーク検出レベルの電圧VDLが増大するので、受像管の画面全体が極端に暗くなることを防止できると

【図4】



10

もに、画面の暗い部分が黒つぶれぎみになるのを防止できる。また、最大利得制御回路17の黒ピーク期間の最大利得が低下することにより、画面の暗い部分のSN比が悪化するのを防止できる。

【0061】

【発明の効果】本発明によれば、映像信号の暗い部分の割合に応じて、黒伸張アンプの黒伸張スタートポイントを設定するとともに、利得制御回路の利得を制御でき、さらに、微分利得の最大値も設定できるので、黒伸張回路に画面全体が暗い映像の映像信号や、暗い部分の多い映像信号が入力された場合に、受像管の画面全体が極端に暗くなることを防止できるとともに、画面の暗い部分が黒つぶれぎみになるのを防止でき、さらには、画面の暗い部分のSN比が悪化するのを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る黒伸張回路の一実施例を示すブロック図。

【図2】図1の黒面積検出回路を具体的に示す回路図。

【図3】従来の黒伸張回路を示すブロック図。

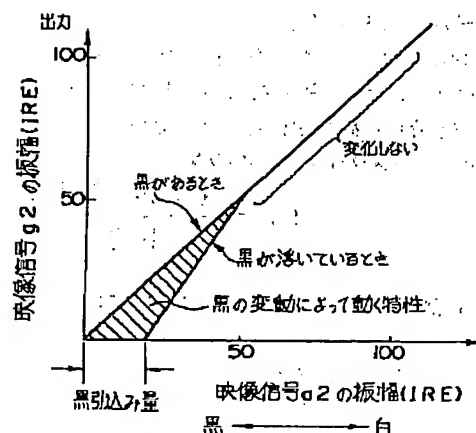
20 【図4】図3の黒伸張回路の動作を説明する説明図。

【図5】図3の黒伸張回路の特性を示すグラフ。

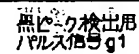
【符号の説明】

- 12 ペDESTALクランプ回路
- 13 黒伸張アンプ
- 14 黒面積検出回路
- 15 加算器
- 16 黒伸張スタートポイント設定回路
- 17 最大利得制御回路
- 18 検出レベル設定回路
- 30 19 利得制御回路
- 21 黒ピークホールド回路
- 22 黒ピーク検出回路

【図5】



【图1】



【図2】



● 制御電圧C1

【図3】

